

漁海況情報

平成 29 年 11 月 2 日 第 14 号 (通巻 615 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【平成 29 年度 第 1 回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報】

平成 29 年 10 月 26~27 日に開催された、第 107 回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁況海況予報会議の結果 (2017 年 11 月~2018 年 3 月における漁況・海況の見通し) をお知らせします。

(参画機関：水産庁、西海区水産研究所、(一社) 漁業情報サービスセンター、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県)

【海況の今後の見通し (2017 年 11 月~2018 年 3 月)】

(1) 海流

薩南海域における黒潮北縁域の位置は、全般的には「屋久島南付近」で変動する。

(2) 表層水温

東シナ海から九州・日本海西部沿岸域にかけての表層水温は、全般的には「平年並み~やや高め」で経過する。

(注) 引用符「」で囲んで表した平年比較の水温の高低の程度は、以下のとおり。

「やや」 : 約 3 年に 1 回程度の出現確率

「平年並み」 : 約 2 年に 1 回程度の出現確率

【漁況の今後の見通し (2017 年 11 月~2018 年 3 月)】

対象海域：東シナ海~日本海西南海域

対象漁業：まき網、定置網、その他

対象魚群：0 歳魚 (2017 年級群 (2017 年生まれ))、1 歳魚 (2016 年級群)、2 歳魚 (2015 年級群)。

魚の大きさは、マアジ・さば類は 尾叉長、いわし類は被鱗体長で表示。

(1) マアジ

来遊量 : 沖合域の漁況は前年並み。沿岸域の漁況は前年・平年並み。

漁期・漁場 : 期間を通して、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

魚体 : 10~19cm の 0 歳魚 (豆・ゼンゴ銘柄) および 19~24cm の 1 歳魚 (小銘柄) が主に、24cm 以上の 2 歳魚以上 (中・大銘柄) も漁獲される。

(2) マサバ

来遊量 : 沖合域の漁況は前年並み。沿岸域の漁況は前年を下回り・平年並み。

漁期・漁場 : 期間を通して、対馬沖、東シナ海、沿岸域が漁場となる。

魚体 : 25~28cmの0歳魚(豆銘柄)と29~32cmの1歳魚(小銘柄)が主に漁獲される。

(3) ゴマサバ

来遊量 : 沖合域の漁況は前年並み。沿岸域の漁況は前年・平年を上回る。

漁期・漁場 : 期間を通して、対馬沖、東シナ海、五島灘・薩南が漁場となる。

魚体 : 25~30cmの0歳魚(豆銘柄)と30~33cmの1歳魚(小銘柄)が主に漁獲される。沿岸域では25~38cmの0~3歳魚以上(豆~中銘柄)主に漁獲される。

(4) マイワシ

来遊量 : 前年を下回り、平年並み。

漁期・漁場 : 長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

魚体 : 14~17cmの0歳魚(小・中羽銘柄)主体に、18~22cmの1歳魚以上(中・大羽銘柄)も漁獲される。

(5) ウルメイワシ

来遊量 : 前年・平年を下回る。

漁期・漁場 : 長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

魚体 : 15~20cmの0・1歳魚(中羽・大羽銘柄)が主に漁獲される。

(6) カタクチイワシ

来遊量 : 前年並みで、平年を下回る。

漁期・漁場 : 漁期は後半が主体で、漁場は沿岸域が中心となる。

魚体 : 8~10cmの0・1歳魚(中・大羽銘柄)が主体で、5~8cm程度の0歳魚(カエリ・小羽銘柄)が混じる。

(注) 「前年」は2015年11月~2016年3月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。

沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。